

拠出金名: 国連国際防災戦略事務局拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				107,204千円	
国際機関等名	国連国際防災戦略 (英文名称・略称) UN/International Strategy for Disaster Reduction (UN/ISDR)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局地球環境課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	87,180	752		1米ドル = 116円	100
平成18年度	-	-		-	-
平成17年度	-	-		-	-
当該拠出金の目的・用途等	UN/ISDRの活動費(斜面災害関連活動等)、人件費、運営費等				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年(暦年)のもの)				国際機関等の財政(注3) (2007年度決算)(米ドル)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注1) (%)		
1位	欧州委員会	5,365	25.5	当該年度の収入	21,037,628.55
2位	世銀	5,000	23.8	当該年度の支出	17,771,638.00
3位	スウェーデン	2,576	12.2	次年度への繰越	3,265,990.55
4位	英国	1,994	9.5	会計検査機関名	
5位	ノルウェー	1,079	5.1	国連会計検査委員会 UN Board of Auditors	
日本(拠出率:3.6%、順位:7位)(注2)				(現在の構成員の出身国:南ア、仏、中)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>2005年1月、我が国の提案の下、国連総会決議に基づき、UN/ISDRを会議事務局として国連防災世界会議が兵庫県神戸市で開催され、世界の防災活動の指針となる「兵庫行動枠組(2005-2015)」が採択されるなど大きな成果を収めた。当該行動枠組には我が国が提案した方針や施策が盛り込まれるなど、我が国の貢献も適切に反映され、国際社会から評価を得た。さらに、我が国は本会議の成果の実施及びフォローアップを重視しており、国際社会において、国連加盟国、国連機関を始めとする国際機関等多様な関係機関の適切な連携、調整により防災活動がより一層促進されることが求められるところである。こうした役割を担う国連システム内の調整機関としてのUN/ISDRの役割は重要であり、我が国としては、引き続きその活動に対する支援を行う必要があると考えている。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>					
<p>国連防災世界会議の成果の実施及びフォローアップの調整機能を担うこととなっているISDRが、その役割を適切に果たすべく、ホームズ国連人道問題担当事務次長のリーダーシップにより、ISDRの機能強化に向けた検討が行われ、その結果、2006年12月の国連総会において、ISDRの新たな推進体制として各国政府、関係国際機関等からなる「防災グローバル・プラットフォーム」を設立することが決議された。我が国としては、国連防災世界会議の開催国として、その成果の着実な実施に資する機構改革を支持している。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上	5人 (2008年12月時点) うち 0 人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	87 人 5.7 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
幹部ポストへの邦人職員送り込み実現に向けて引き続き努力する。					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) UN/ISDRには、内閣府からも拠出金あり(但し、平成19年度拠出金はUN/ISDRの会計上平成20年度に計上されている。)

(注3) UN/ISDRの会計期間は2箇年なので、本報告書の2007年度決算については、UN/ISDRが別途作成している1年毎の収支報告書を元に作成。また、1年毎の収支報告書はあくまで一年間の収入と支出を記載したものであるため、その差額である次年度繰越額には、2006年度前からの繰越額は含まれていない。

(参考) この機関には外務省の他、内閣府予算から拠出している。